

前期課程

あたらしいクラス

二年A組 小坂井 柚葵

四月に、あたらしいクラスになりました。一年生のときの友達ともいっしょになったけれど、一年Aぐみの子は、ほとんどあそんでいなかったの、ふあんでした。でも、なん日かたったら、すつこくなかよくなりました。

なかよくなったら、ほうかのとき、たくさんあそびました。とくに、女の子とたくさんあそびました。そうして、そとでもおにごっこをしてあそびました。そとで



あそんだとき、みんながわらってあそんでいたの、わたしはとてうれしかったです。

これからもたくさんあそびたいです。

たのしかった  
学校あそび

二年B組 梶田 陽光

わたしは、一年生に学校あそびをしたことがたのしかったです。どうしてかという、一年生が話を聞いてくれて前につめて歩いてくれたり、ふだんは入ることができないきょうしつに入れたりしたからです。一年生の前できょうしつのせつめいをするのは、はずかしかったけれど、さいごまで言うてうれしかったです。

わたしはグループのリーダーだったので、一番前で歩いてあそびをしました。うしろを見ながら歩くペースに気がついたり、せいいれつできていくか、かくにんしたりして歩くのがたいへんでした。リーダーは、ほかの子のことまでかんがえなければいけないから、たいへんだと思いました。でも、学校あそびはたのしかったので、またやりたいです。



たのしかった  
おにあそび

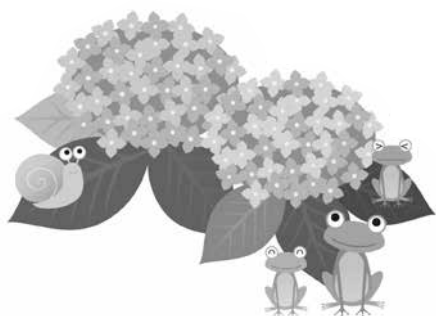
二年B組 比田勝 大和

たいいくのじかんに、いろいろなおにあそびをして、とてもたのしかったです。その中で「ばんたのしかったことは、「田んぼの田」というおにあそびです。

どうしてかという、おににつかまったらさいしよにもどって、またはじめからやりなおせるからです。

ルールのせつめいで、おににつかまったらはじめにもどると聞いて、「がんばろう」と思いました。やってみると、おににつかまったらときはくやしかったけれど、また

はじめからやれることはたのしかったです。そして、さいごまでいけたときは、すごくうれしかったです。とてもたのしかったので、もう一どやりたいと思いました。





# 後期課程

## 八年生の一カ月を振り返って

八年A組 鈴木 千晴

私が八年生になって一カ月経って変わったことが二つあります。一つ目は八年生という自覚をもち始めたことです。誰かがやるからいいのではなく、自分から積極的に何か取り組むということができるようになってきました。二つ目は勉強への頑張りです。七年生の時は、また次頑張りようと思っていきましたが、八年生になり今頑張りよう、と思って取り組めるようになりました。あと一年で受験生にな



るので、今を大切に頑張っていきたいです。

## 八年生になって思ったこと

八年A組 山口 友汰

僕が八年生になって一カ月経って思ったことは、受験が近づいているということです。七年生の時は、まだ先のことだと思っていましたが、来年には受験生になるので八年生のテストではよい点数をとって、自信をつけていきたいです。部活動では後輩ができます。先輩たちに教えられるように、しっかりと練習し、試合でもたくさん勝てるように頑張っていきたいです。



# 最後

九年B組 原 唯花

私は九年生になって感じたことがあります。それは、学園で行われる行事や部活動、そして、九年生全員で過ごす時間が、最後の一年だけになったということです。

九年生になるまでは「最後」という言葉に対して何も感じることはありませんでした。ですが、今は私は「最後」というこの言葉が好きではありません。なぜなら、全てのことがこの一年で終了してしまうからです。八年生までは、勉強や行事などでうまくいかなかったことも、「まだ来年がある」と思いながら切り替えてきました。ですが、今は「もう来年はないんだ」と強く実感しています。だから、私は何事にも一生懸命に取り組みようと思っっています。勉強面では、受験生としての自覚をもって苦手な問題にも逃げずに立ち向かい、部活動では、夏の大会終了後に引退してしまうので、後悔なく清々しい気持ちで終われるようしっかりと練習に励み、行事では、学園の最高学年として先輩たちを引っ張ってよい姿を見せて、今の八年生にバトンタッチしたいです。

後悔なく笑顔で飛鳥学園を卒業できるよう、一日一日を大切に、いつの日か思い出したとき「楽しかった」と言えるよう、今をがんばりたいです。「最後」なんだから。



## 飛鳥学園7月の行事予定

- 3日(土)～ 海部地区中総体(後期課程)
- 6日(火)～8日(木) 個人懇談(前期課程)
- 16日(金) 防犯教室(3・4年)
- 19日(月) 短縮授業・給食終了・引き渡し訓練
- 20日(火) 終業式